

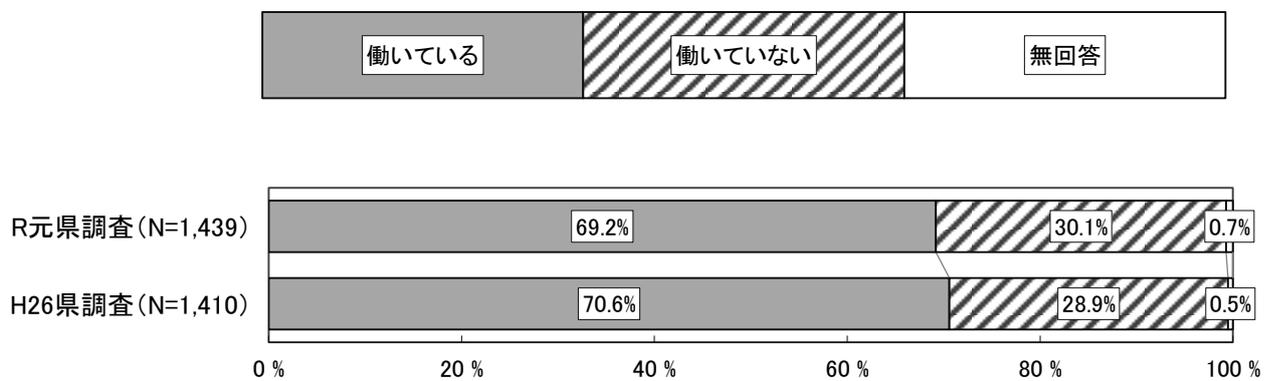
2 就労状況について

(1) 就労の有無

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者についてもお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ)
 ① あなたは
 ② 配偶者は

現在、働いている人の割合は69.2%となっている。
 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

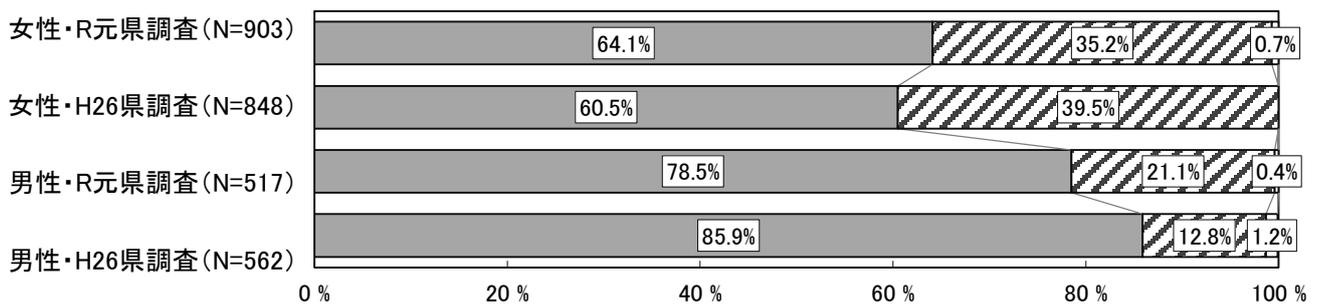
図表 就労の有無



【男女別】

男女別に働いている人の割合をみると、女性はその割合が64.1%で男性に比べて14.4ポイント低くなっており、前回調査に比べ3.6ポイント増加した。

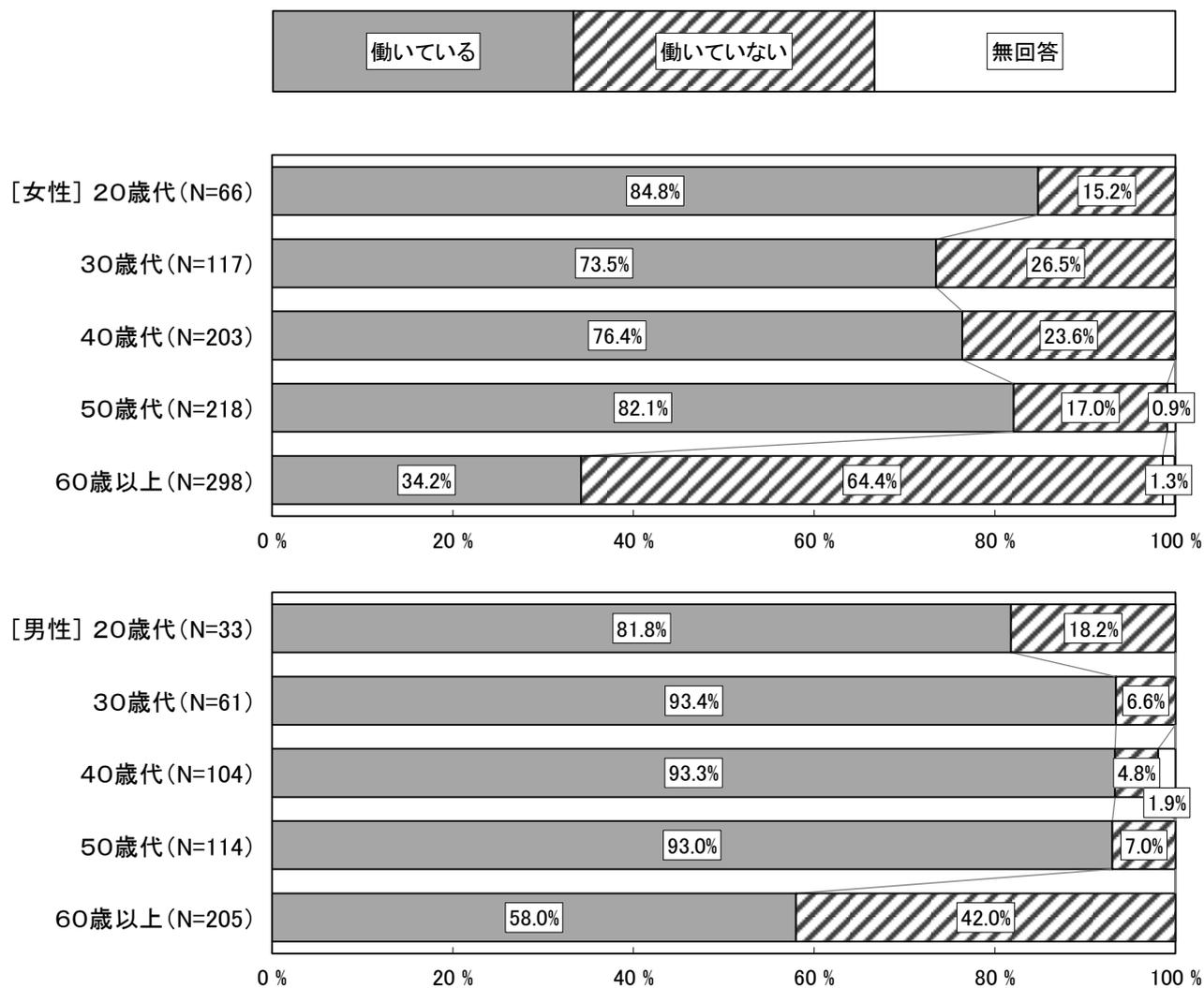
図表 就労の有無 (男女別)



【男女別・年代別】

男女別・年代別に働いている人の割合をみると、20歳代では男女間に大きな差はみられないが、30歳代では女性（73.5%）は男性に比べて19.9ポイント低く、40歳代以降も10ポイント以上の差が開いている。

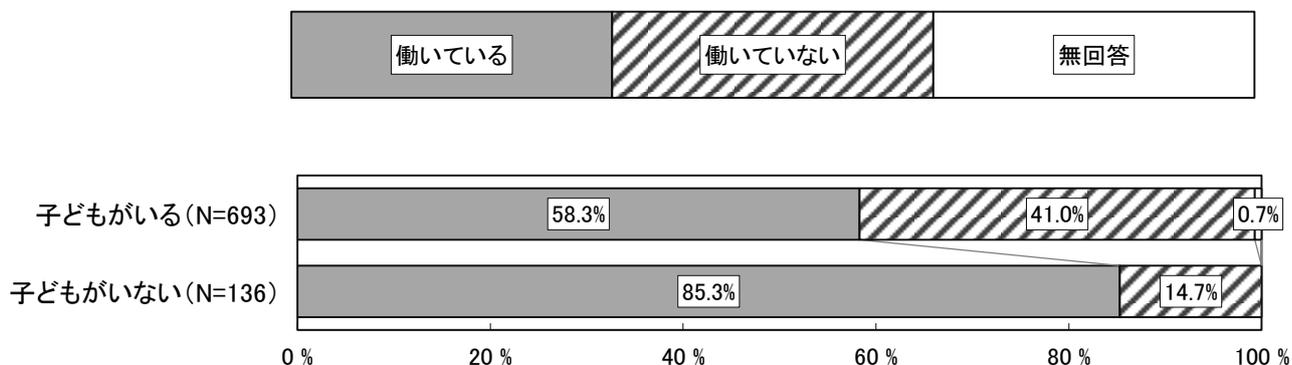
図表 就労の有無（男女別・年代別）



【女性・子どもの有無別】

女性において、子どもの有無別に働いている人の割合をみると、子どもがいる人は 58.3%で子どもがいない人に比べて 27.0 ポイント低くなっている。

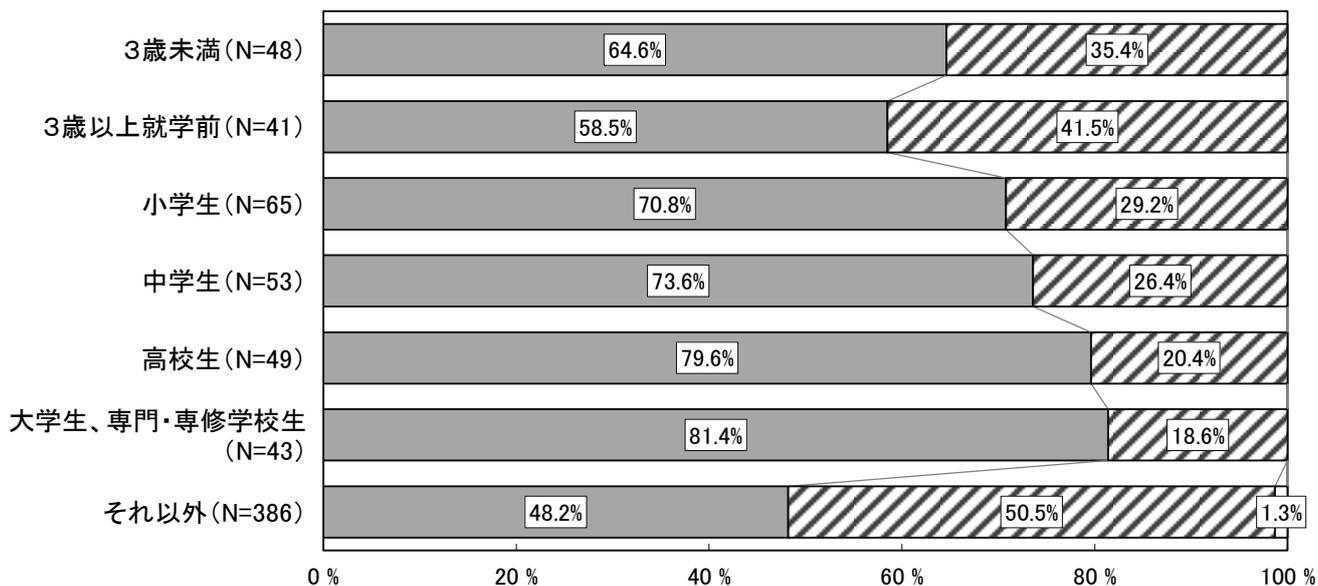
図表 就労の有無（女性・子どもの有無別）



【女性・末子年齢別】

女性において、末子年齢別に働いている人の割合をみると、「3歳以上就学前」(58.5%)では割合が減少するものの、「小学生」(70.8%)以降割合は増加し、「大学生、専門・専修学校生」で81.4%となっている。

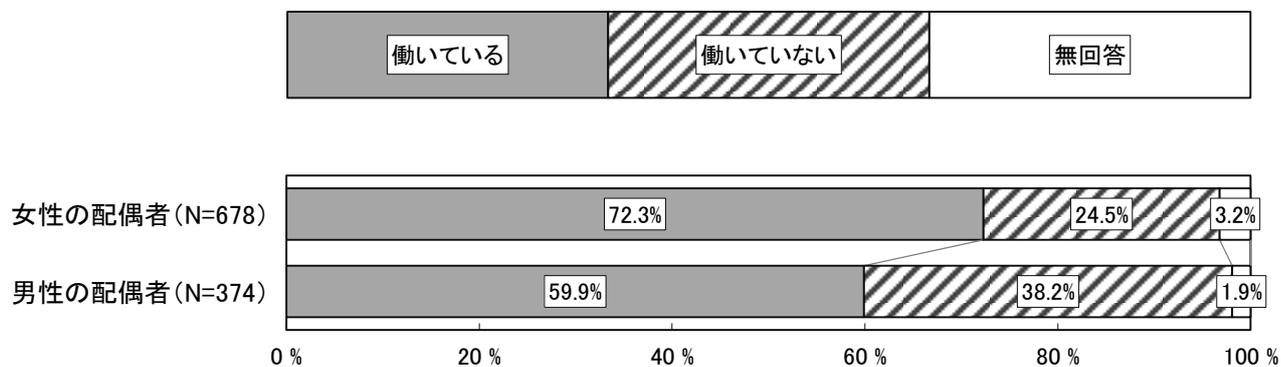
図表 就労の有無（女性・末子年齢別）



■配偶者

男女別に配偶者が働いている人の割合をみると、男性の配偶者は59.9%で、女性の配偶者に比べると12.4ポイント低くなっている。

図表 配偶者の就労の有無（男女別）



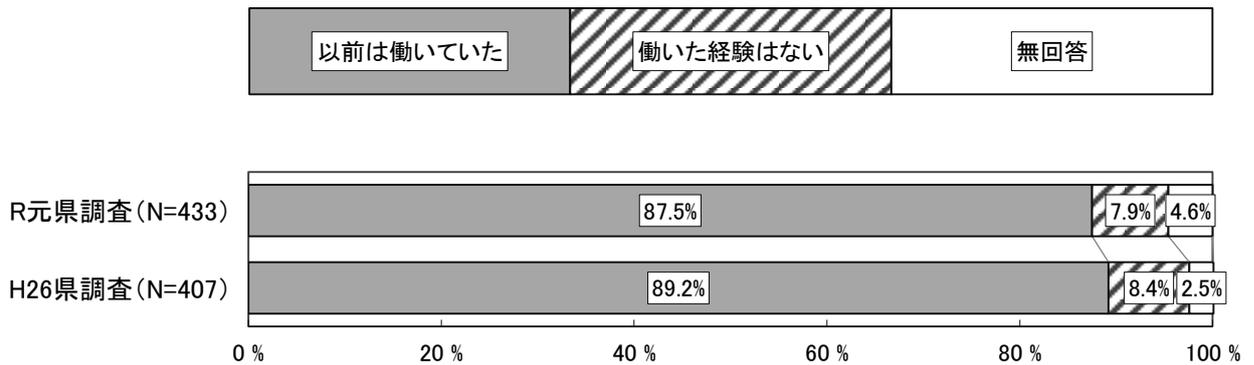
(2) 就労経験

問1 ①または②で「働いていない」と回答された方のみお答えください

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者についてもお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ)
 ①-1 以前はいかがでしたか(あなた)
 ②-1 以前はいかがでしたか(配偶者)

現在働いていない人が「以前は働いていた」割合は87.5%となっている。
 前回調査に比べて大きな変化はみられない。

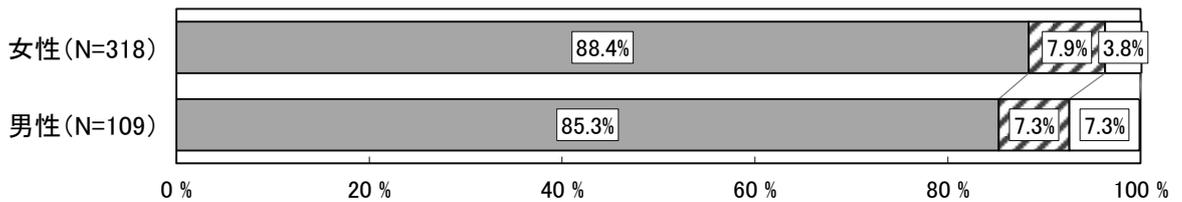
図表 就労経験



【男女別】

男女別に現在働いていない人が「以前は働いていた」割合をみると、女性は88.4%で男性に比べて3.1ポイント高くなっている。

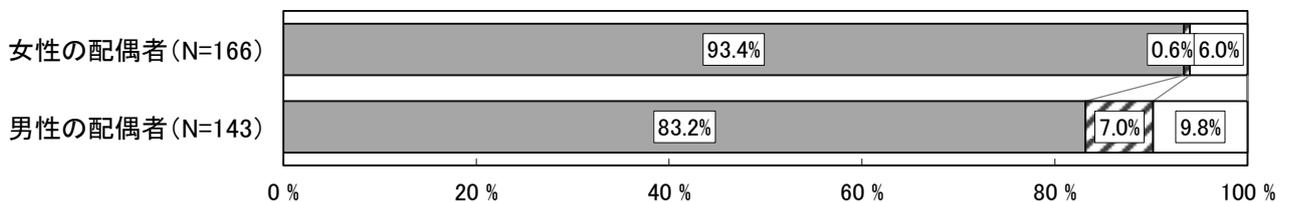
図表 就労経験 (男女別)



■配偶者

男女別に現在働いていない配偶者の以前の就労経験の割合をみると、男性の配偶者は83.2%で、女性の配偶者に比べると10.2ポイント低い。

図表 配偶者の就労経験 (男女別)



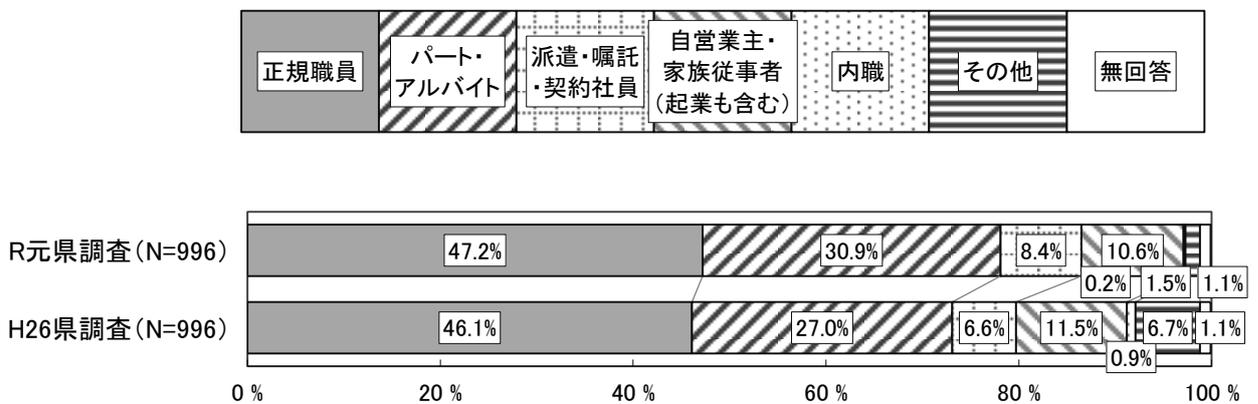
(3) 就労形態

問1 ①または②で「働いている」と回答された方のみお答えください

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者についてもお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ)
 ③-1 あなたの就業形態は
 ④-1 配偶者の就業形態は

働いている人の就労形態は、「正規職員」の割合が最も高く 47.2%で、次いで「パート・アルバイト」(30.9%)、「自営業主・家族従事者(起業も含む)」(10.6%) となっている。
 前回調査と比較して大きな差はみられない。

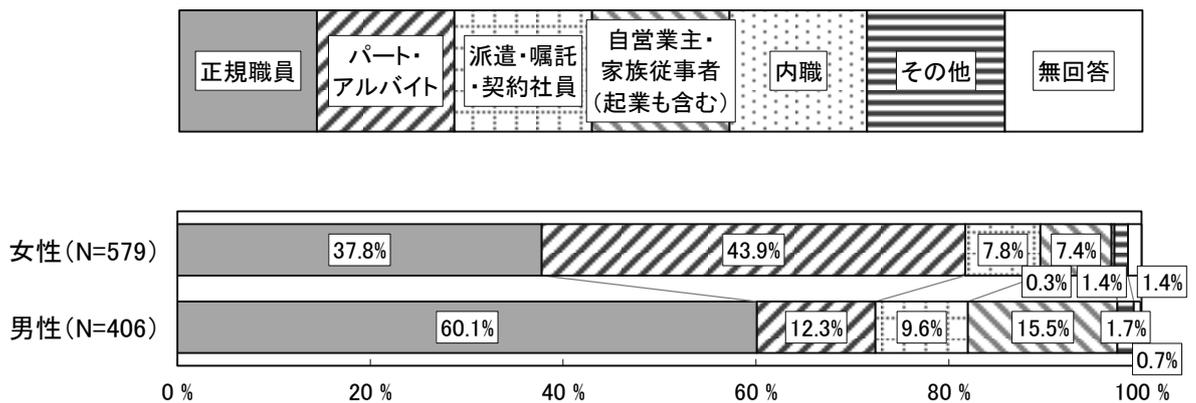
図表 就労形態



【男女別】

男女別に就労形態をみると、女性では「正規職員」の割合(37.8%)が男性に比べて22.3ポイント低く、「パート・アルバイト」の割合(43.9%)が男性に比べて31.6ポイント高くなっている。

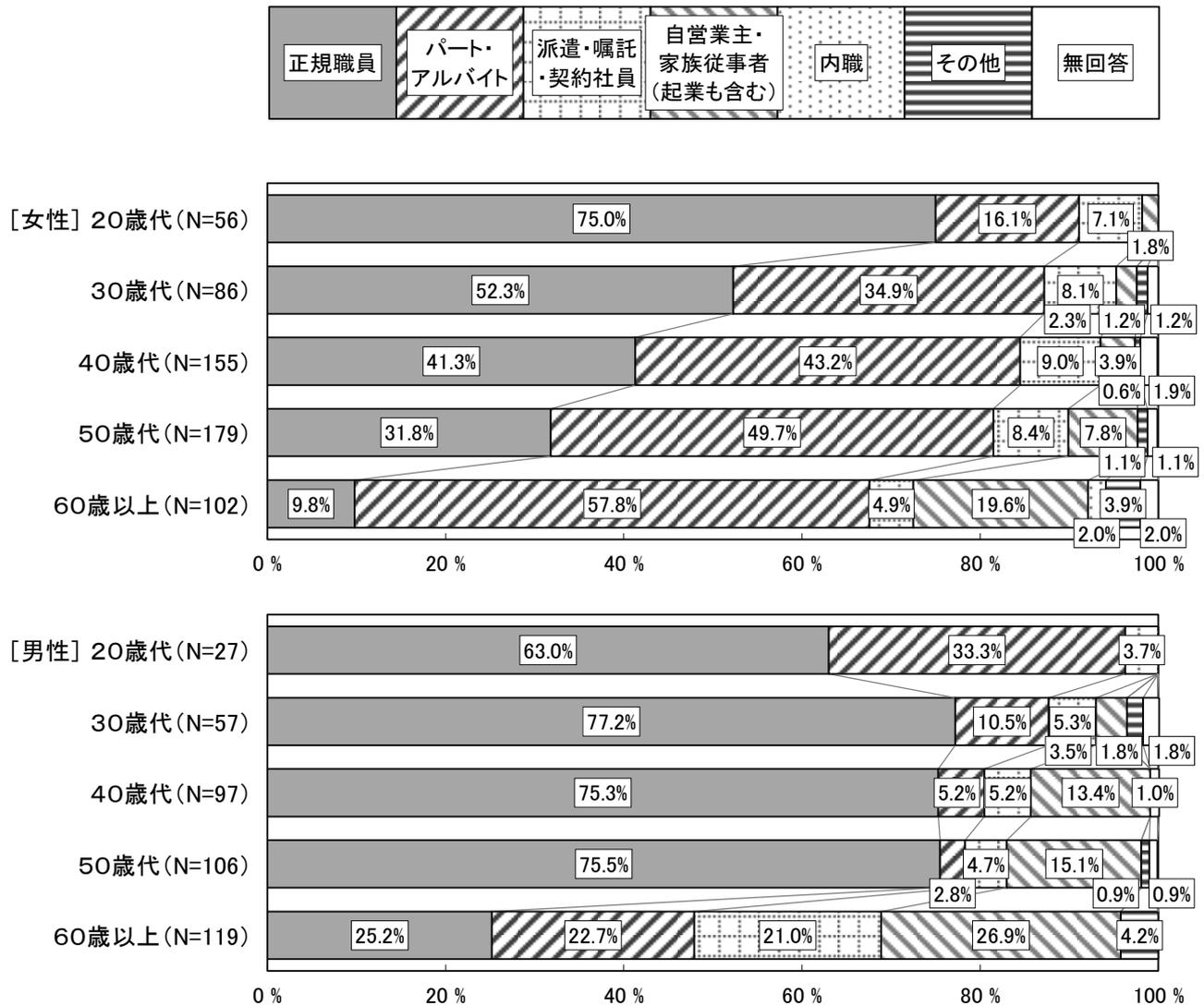
図表 就労形態(男女別)



【男女別・年代別】

男女別・年代別に就労形態をみると、女性は年代が高くなるほど「パート・アルバイト」の割合が高く、「正規職員」の割合が低くなるのに対して、男性は20歳代から50歳代にかけて「正規職員」の割合が安定している。

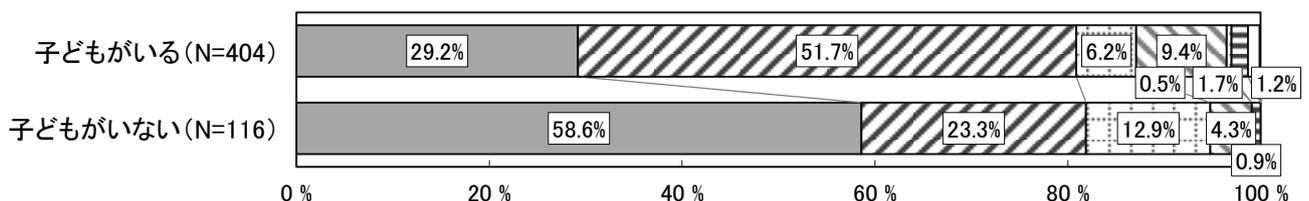
図表 就労形態（男女別・年代別）



【女性・子どもの有無別】

女性において、子どもの有無別に就労形態をみると、子どもがいる人は、子どもがいない人に比べて「正規職員」の割合（29.2%）が29.4ポイント低くなっており、「パート・アルバイト」の割合（51.7%）が28.4ポイント高くなっている。

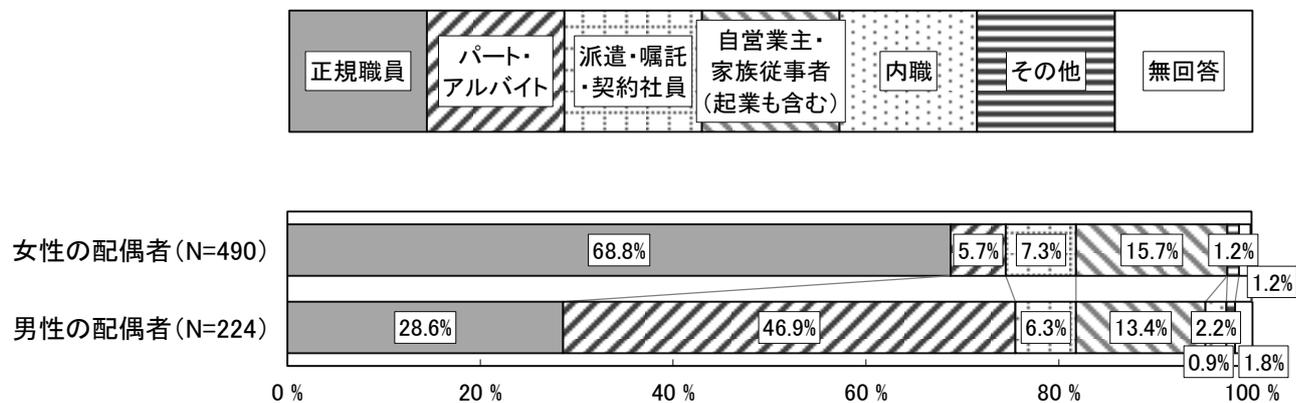
図表 就労形態（女性・子どもの有無別）



■配偶者

男女別に配偶者の就労形態をみると、男性の配偶者は、女性の配偶者に比べて「正規職員」の割合（28.6%）が40.2ポイント低く、「パート・アルバイト」の割合（46.9%）が41.2ポイント高くなっている。

図表 配偶者の就労形態（男女別）



(4) 年間収入

問1 ①または②で「働いている」と回答された方のみお答えください

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者についてもお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

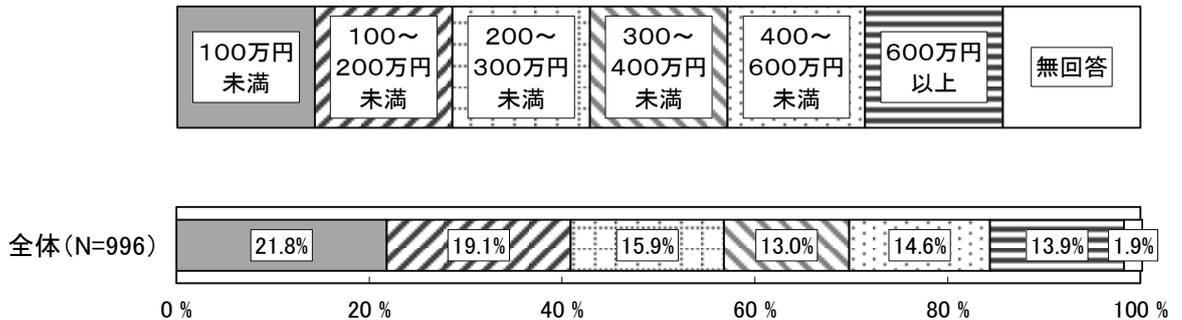
※収入は、自営業の場合には売上金額、会社員や公的年金収入の方の場合には源泉徴収額（所得税等）や社会保険料等を差し引く前の額で、源泉徴収票の支払金額欄に記載されている額です。

③-2 あなたの年間の収入※は

④-2 配偶者の年間の収入※は

働いている人の年間収入は、「100万円未満」の割合が最も高く21.8%で、次いで「100～200万円未満」(19.1%)、「200～300万円未満」(15.9%)となっている。200万円未満計が40.9%となっている。

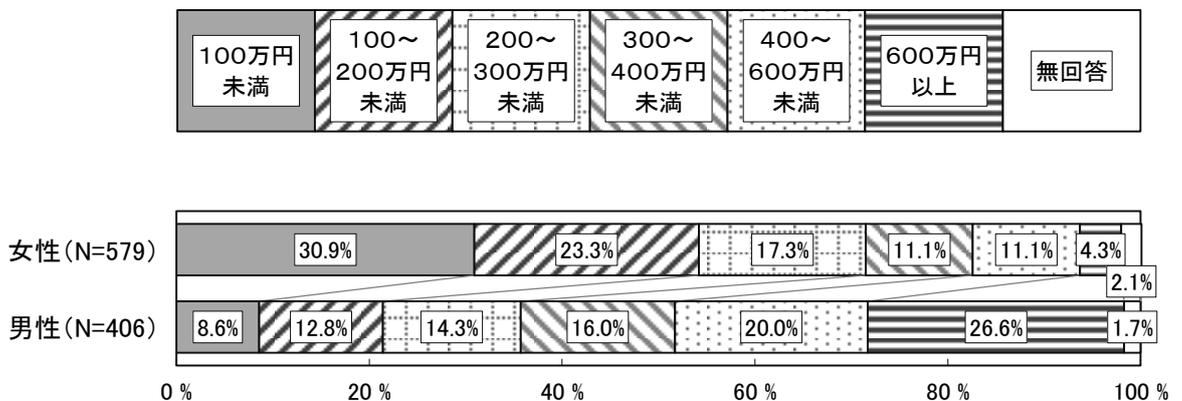
図表 年間収入



【男女別】

男女別に年間収入をみると、女性は男性に比べて、200万円未満計の割合（54.2%）が32.8ポイント高く、「600万円以上」の割合（4.3%）が22.3ポイント低くなっている。

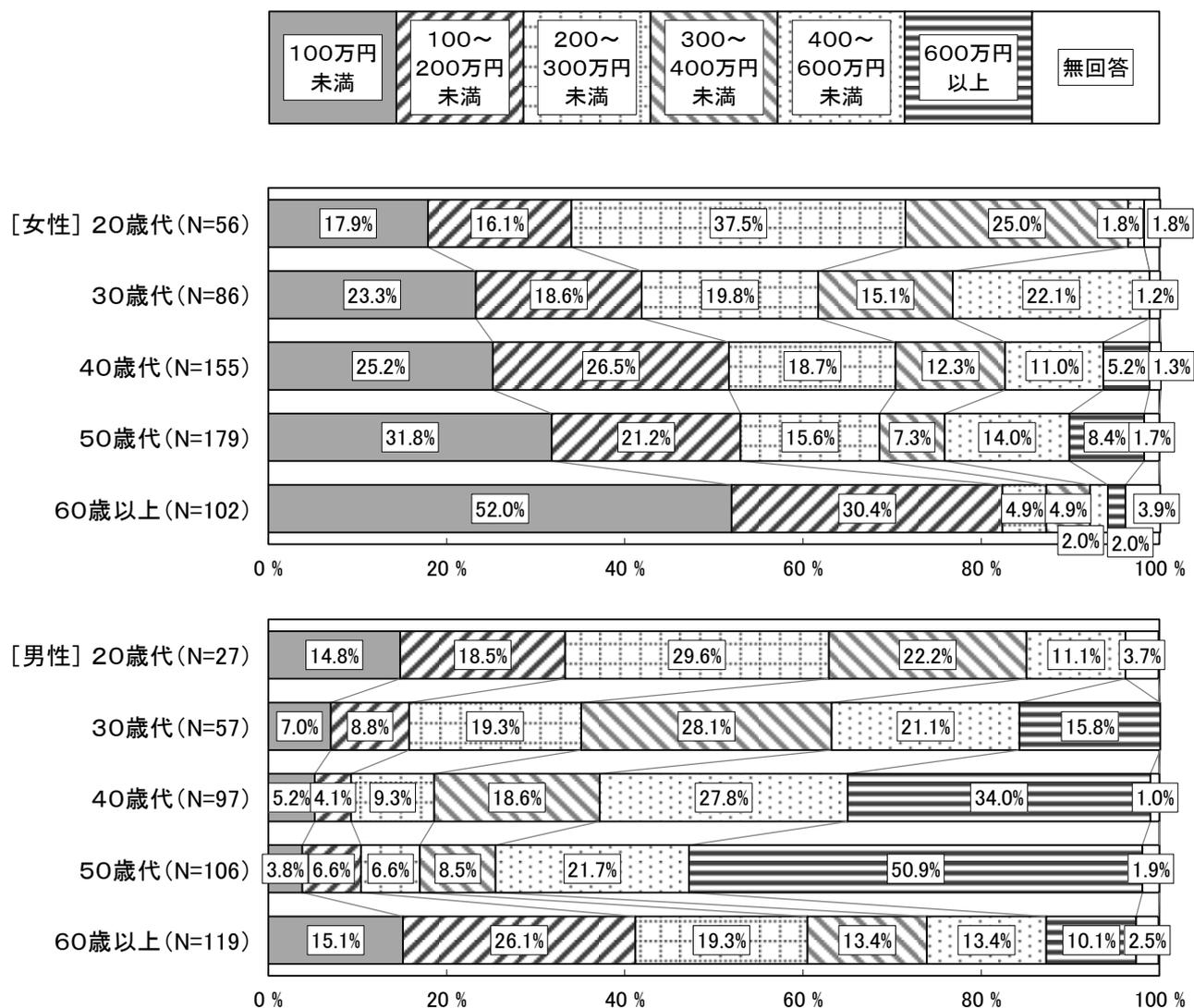
図表 年間収入（男女別）



【男女別・年代別】

男女別・年代別に年間収入をみると、20歳代から50歳代にかけて女性では200万円未満計の割合が高くなるのに対して、男性は「600万円以上」の割合が高くなっている。

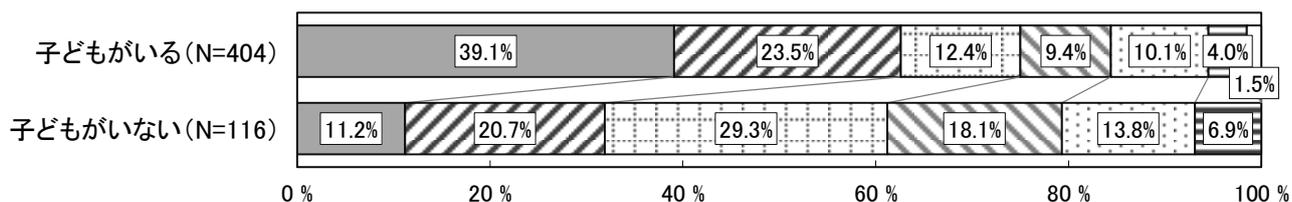
図表 年間収入（男女別・年代別）



【女性・子どもの有無別】

女性において、子どもの有無別に年間収入をみると、子どもがいる人は、子どもがいない人に比べて200万円未満計の割合（62.6%）が30.7ポイント高くなっている。

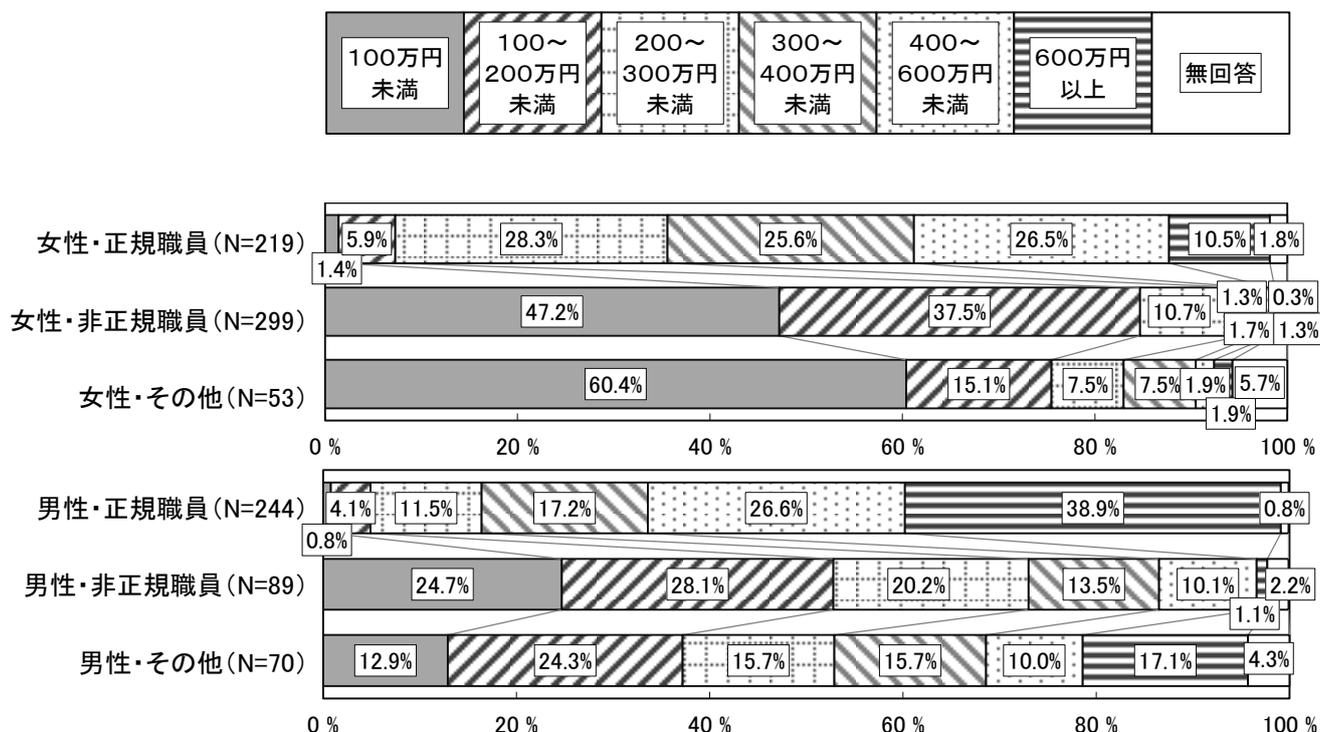
図表 年間収入（女性・子どもの有無別）



【男女別・就労形態別】

男女別・就労形態別に年間収入をみると、女性の正規職員では「600万円以上」の割合（10.5%）が男性・正規職員に比べて28.4ポイント低くなっているなど、同じ就労形態でも性別間の差がみられる。

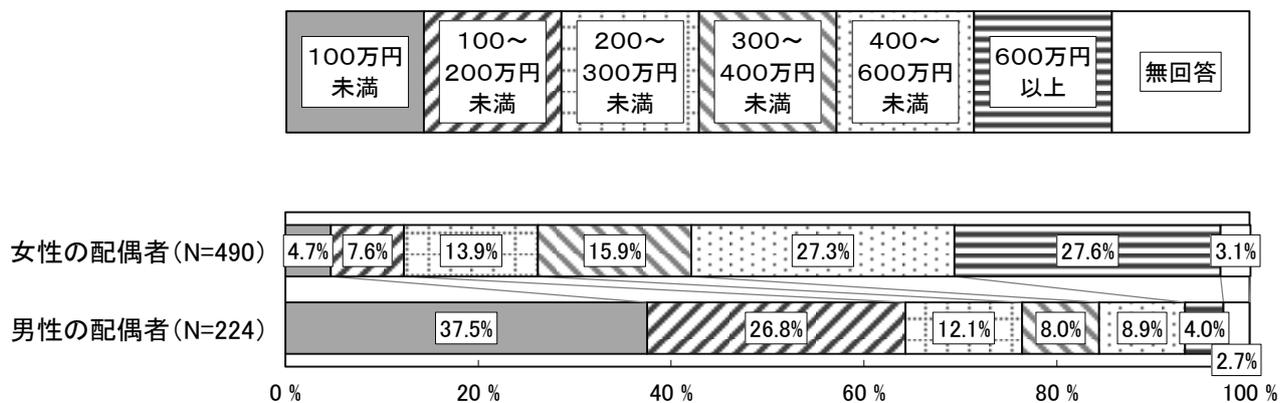
図表 年間収入（男女別・就労形態別）



■配偶者

男女別に配偶者の年間収入をみると、男性の配偶者は、女性の配偶者に比べて200万円未満計の割合（64.3%）が52.0ポイント高くなっている。

図表 配偶者の年間収入（男女別）



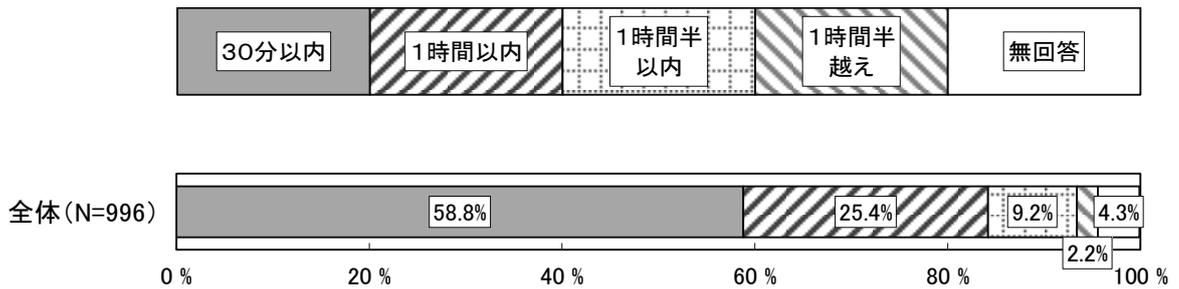
(5) 通勤時間

問1 ①または②で「働いている」と回答された方のみお答えください

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者についてもお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ)
 ③-3 あなたの通勤時間 (片道)
 ④-3 配偶者の通勤時間 (片道)

働いている人の通勤時間は、「30分以内」の割合が最も高く 58.8%で、次いで「1時間以内」(25.4%)、「1時間半以内」(9.2%)となっている。

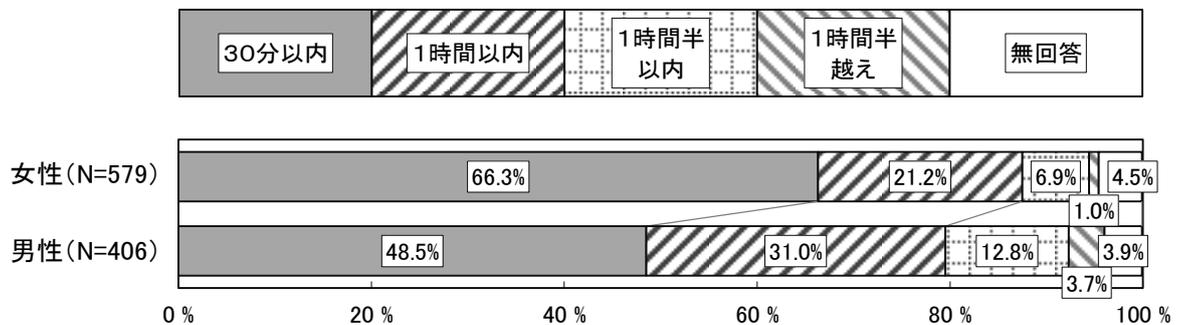
図表 通勤時間



【男女別】

男女別に通勤時間をみると、女性では「30分以内」の割合(66.3%)が男性に比べて17.8ポイント高くなっている。

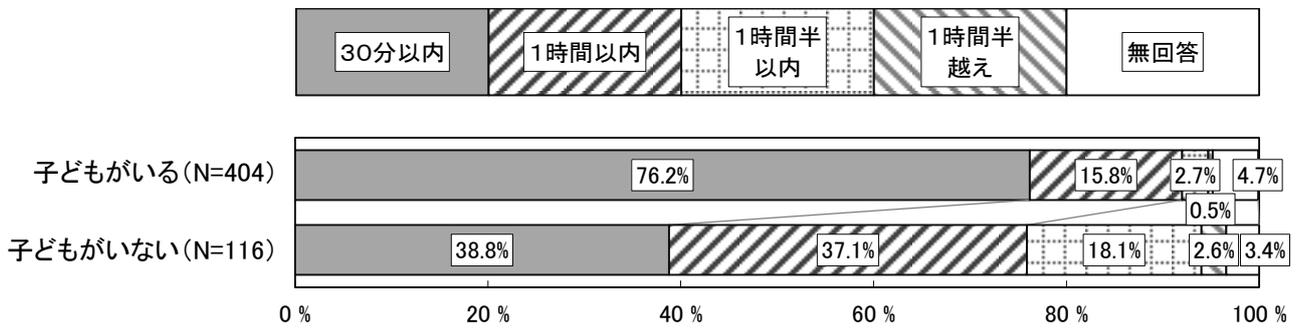
図表 通勤時間 (男女別)



【女性・子どもの有無別】

女性において、子どもの有無別に通勤時間をみると、子どもがいる人は、子どものいない人に比べて「30分以内」の割合（76.2%）が37.4ポイント高くなっている。

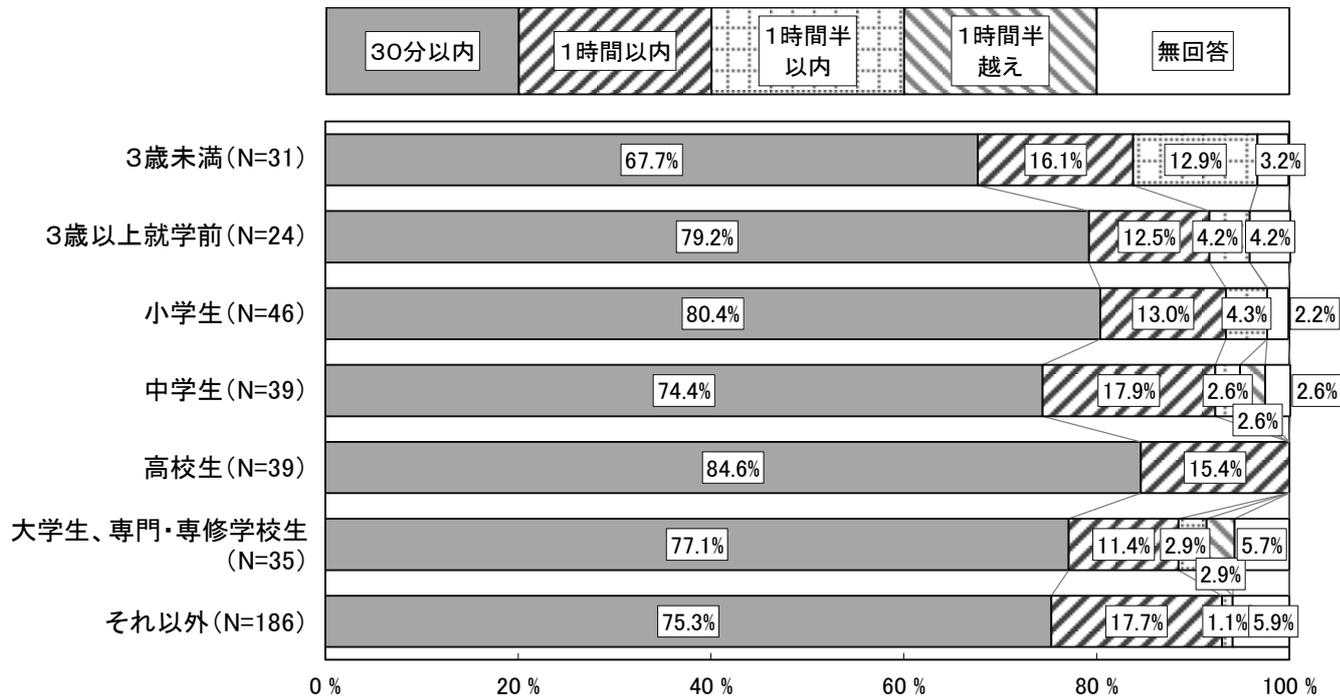
図表 通勤時間（女性・子どもの有無別）



【女性・末子年齢別】

女性において、末子年齢別に通勤時間をみると、末子年齢を問わず「30分以内」の割合が多数を占めている。

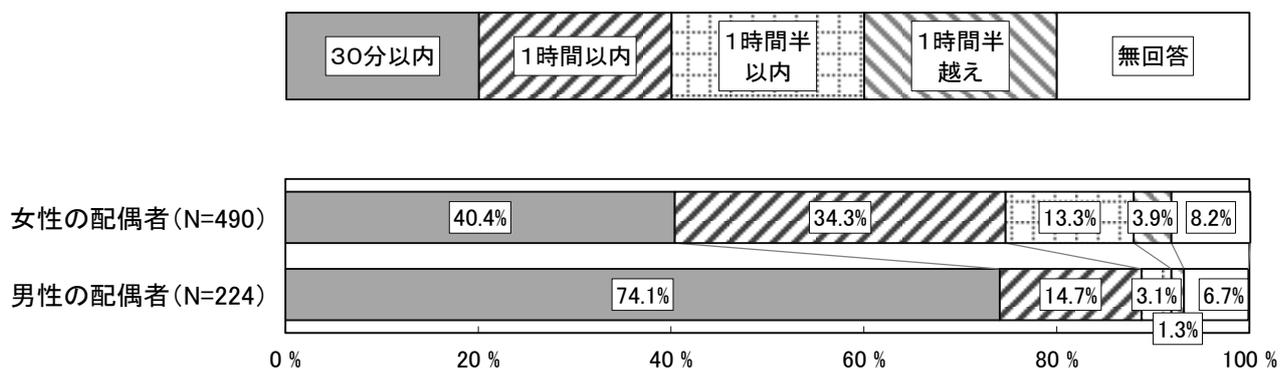
図表 通勤時間（女性・末子年齢別）



■配偶者

男女別に配偶者の通勤時間をみると、男性の配偶者は、女性の配偶者に比べ「30分以内」の割合（74.1%）が33.7ポイント高くなっている。

図表 配偶者の通勤時間（男女別）



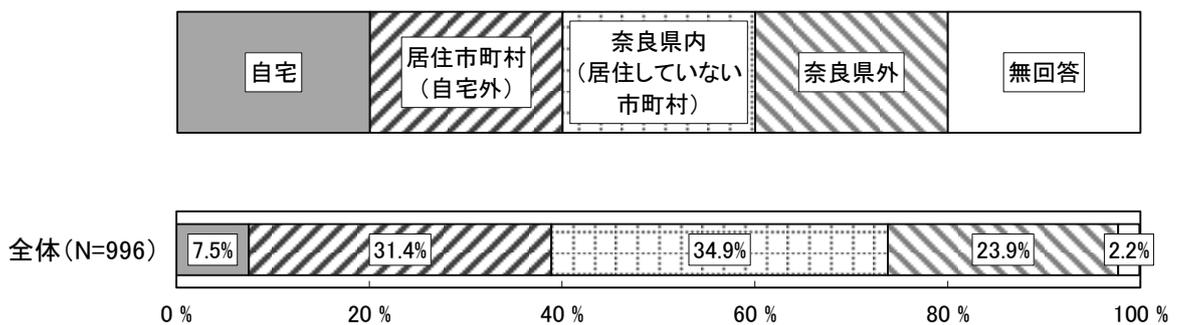
(6) 勤務地

問1 ①または②で「働いている」と回答された方のみお答えください

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者についてもお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ)
 ③-4 あなたの勤務地はどちらですか
 ④-4 配偶者の勤務地はどちらですか

働いている人の勤務地は、「奈良県内（居住していない市町村）」の割合が最も高く 34.9%で、次いで「居住市町村（自宅外）」(31.4%)、「奈良県外」(23.9%) となっている。

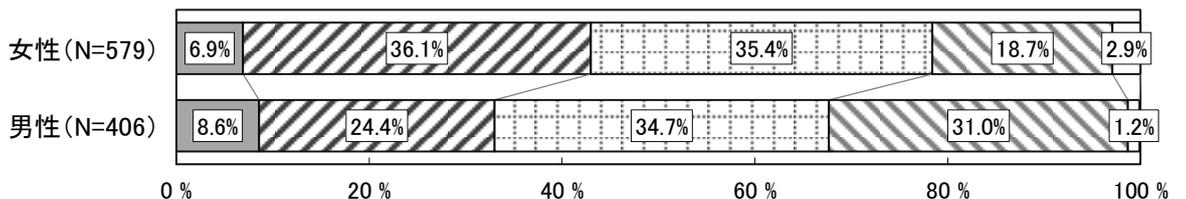
図表 勤務地



【男女別】

男女別に勤務地をみると、女性は男性に比べて「居住市町村（自宅外）」の割合（36.1%）が 11.7 ポイント高く、「奈良県外」の割合（31.0%）が女性に比べて 12.3 ポイント低くなっている。

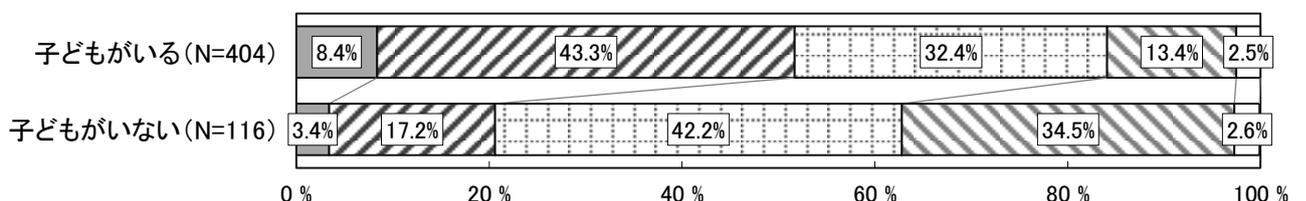
図表 勤務地（男女別）



【女性・子どもの有無別】

女性において、子どもの有無別に勤務地をみると、子どもがいる人は、子どもがいない人に比べて「居住市町村（自宅外）」の割合（43.3%）が 26.1 ポイント高く、「奈良県外」の割合（34.5%）が 21.1 ポイント低くなっている。

図表 勤務地（女性・子どもの有無別）



■配偶者

男女別に配偶者の通勤地をみると、男性の配偶者は、女性の配偶者に比べて「居住市町村（自宅外）」の割合（46.0%）が27.8ポイント高く、「奈良県外」の割合（39.6%）が26.2ポイント高くなっている。

図表 配偶者の勤務地（男女別）

